

六甲カトリック教会報

2006.4 No.412

4月のお知らせ

	教会暦	教会行事
1	土	10:00 聖体奉仕者黙想会
2	日	四旬節第5主日 10:15 壮年会例会
7	金	聖フランシスコ・ザビエル 生誕 500 年記念日 初金 7:00 10:00 ミサ
8	土	14:30 教会学校入学式
9	日	受難の主日(枝の主日) 世界青年の日
10	月	受難の月曜日
11	火	受難の火曜日
12	水	受難の水曜日 11:00 聖香油のミサ(大阪カテドラルにて)
13	木	聖木曜日 19:00 主の晩さん
14	金	聖金曜日(大斎・小斎) 聖地のための献金 19:00 主の受難の祭儀
15	土	聖土曜日 19:00 復活徹夜祭
16	日	復活の主日
17	月	14:00 三日月会 ミサと例会
23	日	復活節第2主日 (神のいつくしみの主日) 7:00 10:00(初聖体と祝福式)ミサ ミサ後、教会親睦会
24	月	11:00 ベビーとママの集い
25	火	聖マルコ福音記者
29	土	聖カタリナ(シテ)おとめ教会博士
30	日	復活節第3主日

聖なる過越の三日間(聖木曜日～復活徹夜祭)の典礼に参加しましょう

日本二十六聖人を慕いて

2月5日、日本二十六聖人の祝日に六甲の信者5人からなる「長崎への道」巡礼団は、11時頃目的地の西坂殉教地跡に到着しました。私たち10名の信者はその完歩祝いにと、西坂記念館にて合流し喜びを共にしました。午後2時より高見長崎大司教司式の二十六聖人記念ミサが、記念館前の広場にて始まりました。当日は晴天に恵まれ、司祭団100名程、信徒は長崎近辺より3000人ほど集まり、それはそれは素晴らしいミサでした。

その後、私たちは二十六聖人の記念館を見学しました。その時あるハプニングが起きました。この巡礼の幹事をされていた婦人が「神父様、案内してあげて下さい」と私に言われました。その言葉を聞いた時、私は直感的に私たちは六甲の信者である、六甲はイエズス会の教会である、記念館もイエズス会の経営である、だから幹事さんは私に皆さんの入場料を無料にしていただけよう交渉して下さいと言っているように解釈しました。私は受付に入り、係りの人に

私たちは神戸の六甲教会から来ましたと挨拶しました。私はカトリック六甲教会と言えば、すぐイエズス会と分ってもらえて、どうぞお入り下さいと答えが返ってくるものと甘く考えていたのです。ところが受付の方は怪訝な顔をしてじっと私の顔を見つめていました。私はローマンカラーをつけておらず、受付の方は「この人は何者でしょうか」という目で私を見ていました。私の背中に何かつめたいものが流れました。気まずい雰囲気が出てきました。しばらく沈黙！どうしようかとまごまごしていると、巡礼団の一人の婦人が「神父様、入場料なら私たち出しますよ」と言われ、私はほっとしました。そして六甲教会と言うだけで、イエズス会だと理解して無料にして下さると考えたことは何と浅はかなことだったと気がついた時、また汗が流れてきました。一人の信者さんの発言によって、私たちは無事に見学を終え記念館をあ

とにしました。以心伝心の難しさを改めて知らされた次第です。その夜は長崎駅に近い、最近有名になった東横インのビジネスホテルに泊まり、夕食は近くのレストランにて完歩された方々を中心に 17 名程の方々と貸切の部屋に集まって「おめでとう」とわいわいがやがや楽しい豪華な夕食が始まりました。

その後 3 泊 4 日の予定で、大江の教会、島原の教会、雲仙の教会、博物館等を見学しながら実りの多い巡礼を続けて参りました。巡礼は、雨、風、雪など自然の猛威もありましたが、見学の時には不思議と太陽が顔を出す恵まれた楽しい巡礼が出来ましたことを神に感謝しております。これも皆様の祈りと励ましあってのことと思ひ感謝しております。どうも有難うございました。

安芸瑛一神父

各 部 会 だ よ り

📖 壮年会

4 / 2 (日) 10:15 ~ 例会

📖 婦人会

1 枝の主日の準備のお願い

4月7日(金)初金ミサ後、信徒会館1Fにおいて行います。20名くらい必要です。短時間でも結構ですのでお手伝い下さい。

2 今年の遠足

6月9日(金)彦根教会～長浜散策に決まりました。大河ドラマ「一豊と千代」で話題の長浜です。琵琶湖を眺めながらの昼食と黒壁スクエア辺りの情緒をお楽しみいただけます。

3 お掃除の登録のお願い

現在婦人会の各地区ごとで掃除をしていますが、参加者の少ない地区もあり、現状維持がたいへん難しくなっています。この度、登録制にして婦人会以外の方にもご協力ご参加をお願い致します。ご家族・ご友人・各部会等で、お誘い合わせの上、ご都合の良い曜日・時間帯に登録して下さい。チ

ームが多くなるほど1年にまわってくる回数が少なくなります。4月のはじめから登録を開始いたします。1ヶ月間位の間に登録をして下さい。私達みんなの教会のため、ご奉仕をお願い致します。

今月の聖堂掃除当番

7日(金) 中1・中2
14日(金) 中3・中4
21日(金) 中5・東1
28日(金) 東2・東3
いずれも午前9時からです。

📖 三日月会

< 例会 >

4月17日(月)14時から ミサと例会
典礼解説とビデオ

📖青年会

< 定例会 >

4月9日(日)12:30~14:00 於：第3会議室

内容：「祈りのはこぶね」を使用した分かち合い
今年度の青年会の進め方について
初めての方も是非気軽に参加下さい！！

4月23日(日)の定例会は教会の「春の親睦会」の手伝いをするため、お休みです。

📖典礼部

3月18日 典礼部例会を行い下記項目を検討した

聖なる過ぎ越しの3日間について
奉仕者を決める。聖堂入り口に張り出していますので、ご確認ください。

奉仕者全員で、4月9日(日)13:30より大聖堂にて調整とリハーサルを行う。

被洗足者は教会学校、中高生会、青年会、壮年会、婦人会、三日月会から各2名ずつ。計12名、十二使徒にちなんで行う。

4月1日聖体奉仕者黙想会について
最後の分かち合いで、任命の条件、任期についてのどのように考えているか意見をもらう。

信徒会館で使用のリードオルガンの購入を検討(今のは私物です)

📖社会活動部

4月5日(水) 10:00~ 手芸の集い

於：第1,2 会議室

手作りのお好きな方、何方でもご参加下さい。

4月7日(金) 13:00~ 社会活動部連絡会

於：第2 会議室

初金ミサ、十字架の道行きに続き、“受難の主日”の枝の準備をお手伝いのあと始めます。新年度最初の連絡会に付き、討議することが沢山あります。

* 各グループの代表者(代理の方)は必ずご出席下さい。連絡会とは、どんな事をしているのかと興味をお持ちの方、是非覗いてみて下さい。

4月8日(土) 10:00~ 炊き出し

教会台所にて準備の上、用意が出来次第、小野浜公園に移動致します。

多くの方のご協力をお願い致します。

4月28日(金) 14:00~ お握り作り

於：教会台所

須磨方面夜回り支援の為に作ります。ご協力をお願い致します。

4月30日(日) 10:00~ 手作りコーナー

於：イグナチオホール

いつもは第3日曜日に開いております手作りコーナーですが、今月は日にちを変更します。是非、ホールにお立ち寄りの上、ご協力をお願い致します。

4月30日(日) 9時のミサ後、古着リサイクル市

於：信徒会館ホール

フィリピンの災害被災者支援の為に催します。

“まだまだ惜しいんだけど”と言える位の物(売れるもの)喜んでお買い上げ頂ける物のご寄付をお願いしたく存じます。

決して廃品処分とはなさないで下さい。お持ち頂く日時、場所は追って週報、掲示板等で御知らせ致します。

また、お買い求めのご協力もお願いしたいと存じます。

御復活の喜びを国を超えても、共に分かち合うことが出来ます様に!

皆様の寛大なご協力をお願い致します。

📖広報部

皆様は「つながり」という冊子をご存知でしょうか?

それは大阪教区の神戸地区評議会の広報誌です。共に歩いていく神戸の11小教区の情報を載せて2ヶ月ごとに発行しています。

4月号は神戸地区で行われて、皆さんが参加することができる勉強会の紹介をしています。ご参考にさせて頂いて下さい。

また、地区評議会広報委員会ではホームページも設けております。一度訪れてみて下さい。

<http://www.pure.ne.jp/~cathkobe>

(六甲教会のホームページからもリンクを張っていますので、簡単にアクセスできます。)

< 2005年の信徒動静 >

新年会に桜井神父よりお話しのありました、2005年1月から12月の六甲教会の信徒動静をここに報告いたします。

信徒総数	2,310名	(男873名、女1,437名)
洗礼	35名	転入 26名
帰天	24名	転出 29名
結婚	13組	

~~~~~

## 旧約聖書をどう読んだらいいのでしょうか

旧約聖書は膨大ですし、どの様に理解したらいいのか迷う事もよくあります。「カテキズム」の中ではわずか2ページで、見事なガイドが示されています。例えば、預言者たちについて。「預言者たちによって、神はその民のうちに救いの希望と、すべての人々にもたらされ、心に刻まれるはずの、新しい永遠の契約への待望の心を培われます。預言者たちは神の民の根本的なあがない、民のあらゆる不忠実な行いの浄化、すべての国の人々を含む救いを告げ知らせます」(64)。この言葉をガイドに、もう一度、旧約聖書を読み直してみたいと思いました。

「カトリック教会のカテキズムを読む会」は、毎月第一日曜の9時のミサ後、開催しています。文字通り皆さんで読んでいます。ご都合がついたときに、お気軽に、ご参加ください。(桐原)

~~~~~

手作りコーナーより感謝と報告

毎月第3日曜日、イグナチオホールで開かれています手作りコーナーをご存知でいらっしゃいますでしょうか？

お弁当、ケーキ、ジャム、おつけもの、エプロン、布バッグ等のメンバー10名による手作りの物をお買い上げ頂き、献金をしています。メンバーだけでなく、信徒の皆様から手作り品をご寄付頂き、販売いたしております。その暖かいご好意とご協力に心から厚くお礼を申し上げます。

陰より応援して下さいます神父様方や信徒の方達との交流の中で奉仕できる喜びを感謝しながら、平成16年7月から平成17年12月までの献金を報告いたします。

一度のぞいて見て下さいませ。喫茶と共に皆様のお越しをお待ちしています。これからも暖かいご支援よろしくお願ひ申し上げます。

神に感謝

(手作りコーナースタッフ一同)

エマウス友の会	30,000
子どもの里友の会	100,000
神戸の冬を支える会	100,000
アキとジョニーを囲む会	90,000
スマトラ沖地震支援	45,000
	¥365,000

障がい者と「共に捧げるミサ」のご報告

前日の寒さが嘘の様に穏やかな日となった3月5日(日)11時より障がい者と健常者が典礼奉仕をも共にさせて頂く「共に捧げるミサ」が捧げられました。岸和田教会、堺教会、垂水教会他遠方よりご自身で、或いは介助者と共に、予想していたよりも、はるかに多くの方々が預かって下さいました。

駐車場の整理や御聖堂内の配置、交流会の準備に前日、当日と力をお貸し下さった壮年会、婦人会、青年会、中高生会の皆様、有難う御座いました。今回何にも増して嬉しかった事は、呼び掛けに応えて六甲教会の青年たちが一生懸命練習に励み、ミサの手話通訳を担って下さった事です。交流会の場でも、若い人たちが積極的にフレンドリーのメンバーの中に加わり、談笑の時を共有している姿にとっても暖かなものを感じました。「気負わず、自然に、日常的に、こう言うミサが捧げられると良いですね」との声も掛けて頂けました。

お忙しい中を何度もご指導に来て下さった通訳者の磯部さん、通訳の練習を頑張って当日に備えて下さった皆さん、又要約筆記や点訳などの奉仕をして下さった多くの教会の皆様、本当に有難う御座いました。
(社会活動部 志水)

「共に捧げるミサ」に参加して

あんな低い所に作られている祭壇を、私は始めてみました。何しろ10センチぐらいの高さに作られていたのです。その事に、神が私達のところに降りてきて下さった事と、弱者への共感の視線が現れていると思いました。そんな教会でのミサは素晴らしいものでした。神父様の話も、カレーを食べながらの交流会も、とても心温まるものでした。

しかし一方で、六甲教会でもこのようなミサがもたれるのが始めてだった様に、まだまだ「障がい者も又、ミサに参加したい。ミサに奉仕したい。」と願っている事は知られていないと思います。これからのこのようなミサが、あちこちの教会で行われるようになる事を願っています。

最後に、フレンドリーの会員である河合さんに神の豊かなお恵みがありますことを、心からお祈り申し上げます。
有末(垂水教会)

今回、「共に捧げるミサ」に、手話を通じて参加させていただきました。

最初に声をかけていただいた時には、人前で人に伝わるような手話なんてとプレッシャーにばかり感じていましたが、ミサに向けて準備をする中で、聖歌やお祈りの手話を勉強し、手話の意味ひとつひとつを理解することで、自分自身がお祈りや聖歌に含まれる祈りの意味を再確認することができたように思います。私は典礼聖歌やお祈りの部分をさせていただいたので、「伝える」というよりも、ろうの方たちとも一緒に手話をしながら歌ったりお祈りをする中で共にミサに預かっているという気持ちを感じることができ、私にとっても嬉しく貴重な経験になりました。

このような「共に捧げるミサ」を通じて、ミサに預かるすべての人たちが、同じように祈り、聖書の言葉を聴き、神父様のお話を感じられるような機会が多くなればと思います。
福島

私は3月5日、六甲教会にて行われた「障がい者と共に捧げるミサ」に手話通訳者(?)として参加しました。この日のために、磯部さんから様々な手話表現をご指導頂きました。使徒信条に手話を付けるのは難しかったです。私は大学で手話サークルに入っていますが、ここ3ヶ月程はサークルにも行かず、手話を学ぶことをやめようかと考えていました。聾者の方と関わったり、手話を学べば学ぶ程、手話の奥深さや聾者の文化を感じるようになり、ある種の「しんどさ」を感じるがあったからです。関わるからには本気で手話を学び、関わらなければ相手に失礼だと思い、悩んでいました。

しかし、練習の際に磯部さんから手話や聾者の世界の話をお聞きしたり、ミサ後にあったイグナチオホールでの交流会で聾者の方から話をお聞きして「関われる限り関わって、手話も少しずつでいいから学んでいこう」と思うようになりました。本当に私にとっては良い機会となりました。

ミサは本来、みんなで祝うものだと思います。今回のミサでとてもそのことを感じました。良いミサでした。これからもこういった活動が続いていけばと思います。ミサを通してみんなそれぞれの中にある障害となるものが取り除かれていきますように
吉村

「修行僧は、傘も灯りも貸してはくれず、山門をばたんと閉じた。真っ暗な闇、土砂降りの雨の中を、男はびしょ濡れになりながら、木の根につまずき、あちこちに頭をぶつけ、ほうほうの態で山を下っていった。僧侶に対する恨みを言いながら・・・。」聞こえない人の顔が「なぜ？ どうして親切にしてあげないの？」と訴えている。

3月5日“障がい者と共に捧げるミサ”でのお説教の時のこと。「傷だらけになりながら、やっと山をおりきった時、男ははっと気づいた。他人に対して甘えていた自分に。神よ神よと祈っていた自分に。そして、あの修行僧の偉大さに。」聞こえない彼の顔が、「あーそうか」と納得の表情に変わる。

内容だけではない、音や声の雰囲気までも伝える、そんな手話通訳を、今回幅広い年齢の6人で担当できた事に感謝。練習時、いろいろ助けて下さった方々にも感謝。そして、ずっと心配しながら見守ってくださった神様に感謝。
磯部

フレンドリー・メンバーの方々から寄せられた声です。

- 婦人の方の活躍が素晴らしかった。感動しました。(Y・H)
- カレーが美味しかった。会の雰囲気が良く、行き届いていると感じました。(M・S)
- よく、もてなして下さった。青年が働いていて羨ましかった。(H・U)
- ボランティアの手話の賛美に感動した。(M・K男性)
- ごミサに感動。小教区から車椅子の方をお連れして良かった。(R・S)
- 志願式と一緒に良かった。神父さんの大きくて、ゆっくりの話が分かりやすかった。(Y・Y)
- お迎え、ミサ、交流会よく準備されていると感じました。(T・N)
- 統制が取れて、スムーズ、まとまりがあった。神父さんのお話が良かった。(M・T)
- 神父さんの説教が、心に沁みた。(M・R女性)



~~~~~

## 初聖体・祝福式パーティー & 親睦会

4月23日(日)10時のミサ後～

テーマは「ウィズ クライスト 新しい友達と出会おう！」に決まりました。  
教会の新しい仲間との出会いの中にキリストがおり、親睦をはかろうと言う  
ものです。

今回は、乾杯まで、住んでいる場所が教会の東か西かでステージの東と西に分か  
れていただき、教会の仲間に少し関心を持っていただくこと、住んでいる場所な  
どの話題から親睦への第一歩にさせていただこうと計画しています。子供たちの初  
聖体・祝福のパーティーも同時に行われますし、六甲教会のために働いていただ  
いた高山神父様の送別の意味も込められた会になりますので、沢山の方の参加を  
願います。 (行事部 千原)

なお、当日のミサは、7:00と10:00の  
2回となります。お気をつけ下さい。

|                                                                                                                                                                             |                                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教会報月5月号の発行は、4月30日(日)です。<br>編集会議は4月23日(日)です。<br>記事原稿は、4月16日(日)正午までに信徒会館事務室<br>へご提出願います。 (広報部)<br><br><a href="http://www.rokko-catholic.jp">http://www.rokko-catholic.jp</a> | <b>六 甲 カ ト リ ッ ク 教 会</b><br>〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21<br>電 話 078-851-2846<br>発行責任者 桜井彦孝 神父<br>編 集 広 報 部 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|